

4月、新たな一步を踏み出した私たちは、一日一日を大切に過ごしてまいりました。とりわけ初めての環境ということで、“安全面”にはこれまで以上に細心の注意を払い、子ども達と一緒に生活の仕方(ルール作りなど)を考えできました。6月も後半になり、新園舎での安全な生活の仕方が分かるようになってきた子ども達です。

また、日頃から意識している『より良い環境作り』のために、保護者の方からのご意見も参考にし、施設の整備に努めてきたところです。園庭にも、鉄棒・うんてい・砂場・プールと子ども達の体作りを支える遊具が徐々に増え、一人ひとりが自分のやりたいことを見つけて挑んだり、五感を働かせて思う存分遊ぶ姿が見られます。今後も更に試行錯誤を繰り返し、園内外の環境を整えてまいりたいと考えています。

一方、実生活では、0.1.2歳児と年長児のかかわりが目を引きまします。毎朝登園すると、素早く身の回りの始末を済ませ、嬉しそうに階下へ降りてくる年長さん。子どもの傍に静かに腰を降ろし積み木やブロックをしたり、抱っこしたり、戸外に出ている子どもの手を引き、歩調を合わせて散歩をしたりと、自ら様々なかかわりをしています。その表情からは、小さいお友達の役に立っているという充実感が見て取れます。こうした自然な形での異年齢交流ができるのも、0.1.2歳児が同じ場(園内)に居てくれるからであり、本当に嬉しく思っています。保護者の方からも、「かわいいよ。」「ほっぺが、ぷにぷによしているんだよ。」等とご家庭での話題になっているという話を伺っています。これからも、こうした交流を通して、小さいお友達を慈しむ心やお兄さんお姉さんへの憧れの気持ちが育まれ、それが自然な形で園内に広がり、全員が成長し合っていけるよう、私達も温かく見守りたいと思います。



歩幅を合わせて
ゆっくりと・・・
イチニ、イチニ



自然な交流の様子



ほら、顔が見えるよ。

お楽しみ会について

来る7月10日(金)に、保護者会主催の『お楽しみ会』が開催されます。時代とともに形を変えながら保護者の皆様の手で受け継がれてきたこのお楽しみ会には、『保護者同士の親睦を深める』ことに加え、『親子での楽しい思い出作り』という意味合いも含まれています。乳幼児期に親子でのふれあいの時間を共有することは、教育的にも意義のあることと考えておりますので、当日は、スタンプラリー(手作りゲーム等)を是非お子様と楽しんでいただければと思います。

なお、前日準備、当日についての詳細は、保護者会及び園から配布いたします別プリントをご覧ください。ご不明な点はお尋ねください。